様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	アミューズ美容専門学校
設置者名	学校法人 日整学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
衛生専門課程	美容科	夜・通信	67単位	67単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

事務局に「学校情報ファイルの閲覧が可能。HP掲載準備中。

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	アミューズ美容専門学校
設置者名	学校法人 日整学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

事務局に「学校情報ファイルの閲覧が可能。HP掲載準備中。

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	美容師	令和4年6月4日から 令和8年6月3日まで	組織運営体制への チェック機能、 学生への技術指導
非常勤	美容師	令和4年6月21日から 令和8年6月3日まで	組織運営体制への チェック機能、 学生への技術指導
非常勤	造園業	令和4年6月4日から 令和8年6月3日まで	組織運営体制への チェック機能
非常勤	公認会計士	令和4年6月4日から 令和8年6月3日まで	組織運営体制への チェック機能、 財務関係への分析 及び助言
非常勤	会社経営者	令和4年6月4日から 令和8年6月3日まで	組織運営体制への チェック機能、 福利厚生関係の分 析及び助言
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	アミューズ美容専門学校
設置者名	学校法人 日整学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>在学期間で美容師国家試験に合格出来る技術と知識の習得をすることだけでなく、就職後に即戦力となれる高い技術の習得を目標として授業計画を作成。授業計画の作成は、点検と修正を繰り返し、最終調整の後に確定。新年度開始の4月を目途に閲覧可能場所に設置。</p>	
授業計画書の公表方法	事務局に「学校情報ファイルの閲覧が可能。HP掲載準備中。
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>各教科の定期試験は筆記試験及び実技試験によることが原則とするが、作品等の提出により評価することもできる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試験問題の作成に当たっては、受講者の7割以上が合格点に達する程度の内容とする。その為に、授業時間に出来るだけ多くの簡単な試験や演習を行い受講者の学力を検討しておく。 ・採点は100点満点で60点以上を合格とし、不合格の者は再試験を受けさせる。 ・各教科の総合評価は定期試験の成績及び出席率を一覧表にて表す。出席率は9割以上を合格とし、9割未満を不合格とし点数にて表す。不合格の者は、補習及び補講授業を受けさせる。 ・提出された総合評価一覧により、進級・卒業の判定会議において認定を決定する。 	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>全履修科目の成績を100点法に換算し、合計点を科目数で除した点数を「評定平均」として年2回の学期末と年度末に一覧管理を行い、成績の分布状況を把握するようにしている。</p> <p>追試験に向けた指導や個別相談には、G P Aのランク別の指導を行っている。</p> <p>評定については、学期ごとの期末試験結果・出席状況等を総合的に評価。</p> <p>2・3ヶ月毎に試験結果や学習状況等の担任コメントを記載した、出欠状況表を保護者宛に送付し、家庭との指導の連携を図っている。</p> <p>(追記)</p> <p>試験は年度ごとに前期・後期の2回行う。</p> <p>100点満点とし、次の5段階に分類する。</p> <p>[100～90、89～80、79～60、59～40、39～0]</p> <p>60点以下の場合は追試験を行う。</p> <p>60点以上で合格とするが、60点以上あった場合でも得点は60点とする。</p> <p>昨年度実績 [89～80点] が33%、[79～60点] が67%</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	事務局に「学校情報ファイルの閲覧が可能。HP掲載準備中。
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業認定については別に評価判定基準を設けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験は年2回（前期試験・後期試験）。 ・定期試験を欠席した場合、或いは追・再試験を含む成績評価が100点満点で60点未満である、又は出席率が実講義時間数の9割未満の場合は、その科目を不良科目とする。 	
卒業の認定に関する方針の公表方法	事務局に「学校情報ファイルの閲覧が可能。HP掲載準備中。

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	アミューズ美容専門学校
設置者名	学校法人 日整学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	事務局に「学校情報ファイルの閲覧が可能。
収支計算書又は損益計算書	事務局に「学校情報ファイルの閲覧が可能。
財産目録	事務局に「学校情報ファイルの閲覧が可能。
事業報告書	事務局に「学校情報ファイルの閲覧が可能。
監事による監査報告（書）	事務局に「学校情報ファイルの閲覧が可能。

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	美容科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2010/67 単位時間/単位	510 /17		1500 /50		
		2010/67 単位時間/単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		88人	0人	9人	8人	17人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要） 1月から3月にかけて、新年度各教科の担当教員・講師に現行シラバスをベースとし、授業計画作成を依頼する。提出された後、教科書改訂個所を考慮し、各教科担当者と教務課・主任と共に意見交換・調整を行い、新年度分を決定する。 最初の授業で生徒に授業計画を説明するとともに公表する。
成績評価の基準・方法 （概要） 不良科目数により、進級の評価判定基準を設定している。 ・不良1科目【条件付き進級】年度末まで補習授業を受けた後に再試験を受け、単位取得後に進級を認定する。（補習授業料を納付させる） ・不良2～4科目【仮進級】進級クラスに在籍させ、次年度の前期間に不足分の補習授業を受けさせる。その上で不良科目の再試験を受け単位を取得させる。出席状況を見た上で判定を再度行う。（補習授業料を納付させる） ・不良5科目【留年】全科目の認定を取り消し、再度同学年を履修させる。（1年分の授業料を納付させる）

卒業・進級の認定基準 (概要)
<ul style="list-style-type: none"> ・不良1科目【年度内卒業】補習授業を受けた後に再試験を受け、単位取得させた後、卒業を認定する。(補習授業料を納付させる) ・不良2～4科目【1ヶ月卒業延期】年度末後1ヶ月間補習授業を受け、再試験を受け単位取得させた後、卒業を認定する。(1ヶ月分の授業料を納付させる) ・不良4科目【6ヶ月卒業延期】年度末後6ヶ月間補習授業を受け、再試験を受け単位取得させた後、卒業を認定する。(1ヶ月分の授業料を納付させる) ・不良5科目【留年】全科目の認定を取り消し、再度同学年を履修させる。(1年分の授業料を納付させる)
学修支援等 (概要)
<p>少人数制・クラス担任制を実施。各個人の生活状況や友人関係の把握につとめる。担任だけでは難しい問題の場合は副担任・主任も交え対応する。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
43人 (100%)	0人 (%)	42人 (97.6%)	1人 (2.3%)
(主な就職、業界等)			
美容室、まつ毛エクステンションサロン、をはじめとする美容業界			
(就職指導内容)			
校内就職相談会の開催、各地の就活イベントへ参加、就職指導教員との個別相談			
(主な学修成果 (資格・検定等))			
<ul style="list-style-type: none"> ・美容師国家資格 ・ABE まつ毛エクステンション・アシスタントディレクター認定 ・JBCA ビューティ・コーディネーター検定 ・山野流着装 初伝・中伝・奥伝許状 ・JNEC ネイリスト技能検定 ・文部科学省後援 A.F.T 色彩検定 			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
94 人	14 人	14.8 %
(中途退学の主な理由)		
対人関係の不和、職業認識や目標意識の低下、進路変更、等		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<p>社会人になるための心構えについての講演会の実施。 出席状況や生活態度について保護者と連絡を密にし、悩み個別相談、三者面談の実施、等連携体制の構築に努めている。通信課への変更も提示し、在学を無駄にしない様応援にも努めている。</p>		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
美容科	0 円	840,000 円	360,000 円	施設費、教材費 (現二年生)
〃	250,000 円	940,000 円	560,000 円	施設費、教材費 (現一年生)
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
<p>「入学時入学金免除制度」 (全額免除を上限とし組み合わせ利用可)</p> <ul style="list-style-type: none"> 入学試験方法による支援制度 AO・指定校推薦入試の場合 [100,000 円]、推薦入試の場合 [50,000 円] 免除 成績優秀支援制度 入学選考時に生成優秀と認めた者 [50,000 円] 免除 (出願時の調査書で判定) ファミリー支援制度 4親等内に本校在校生・卒業生が居る場合 [50,000 円] 免除 一人暮らし支援制度 入学時に本校指定地域より提携不動産の契約される場合 [50,000 円] 免除 				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 事務局に「学校情報ファイルの閲覧が可能。 HP掲載準備中。		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 評価の客観性・透明性を高める為、本校と関わりのある美容業界や他企業の方・卒業生などと連携し、学校運営の改善を図り外部委員による学校評価を行うことを基本方針とする。 委員会開催は年2回とする。学校評価ガイドラインに則って現状を評価し、次年度の教育活動・学園運営に生かしていく。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
アミューズ美容専門学校	令和4年6月4日から 令和8年6月3日	学校長
会社経営	令和4年6月4日から 令和8年6月3日	
美容室経営	令和4年6月4日から 令和8年6月3日	卒業生
ICTサポート	令和4年6月4日から 令和8年6月3日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 事務局に「学校情報ファイルの閲覧が可能。 HP掲載準備中。		

第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）

事務局に「学校情報ファイルの閲覧が可能。HP掲載準備中。

<https://www.abc.ac.jp>